OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	センターだより　大阪大学大型計算機センターニュース　No.23
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1976, 23, p. 1-28
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65327
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ACOS 77／S700 導入に際して

センター長　　高　木　修　二

既にお知らせしました（センター・ニュースNo.21）ように，これまで使用してきたＮＥＡＣ２２００／５００を更新して，ＡＣＯＳ７７シリーズ・システム７００を設置し，ＴＳＳサービスを中心に１０月１３日より稼動を開始しました。ＮＥＡＣ２２００／５００は阪大にとって因縁の深いシステムでありました。昭和４１年に本格的な学内センターの開設に当たり当時の大型機として始めて導入され，昭和４３年には日本で始めてのＴＳＳサービスをこれで始めました。当時としては，ＩＣを使用した画期的なハードウェアを持つ最新鋭機でありました。また，ＴＳＳシステムも，日本で最初ということもあって，本学の研究者も一部開発に参加し，後には電々公社とも協同して評価なども行ったもので，もちろんいろいろ欠点はありますが，これはこれなりに優れたシステムでありました。しかし，いくらある時点で優れたシステムであっても，進歩の早い計算機の世界で，そう長い間通用するわけには行きません。需要の増大と利用方法の多様化に応えるため，センターでは毎年のようにバッチ処理を含む全システムの更新拡充の計画を立て予算要求をして来ました。残念ながらその要求はなかなか認められません。かと言って，このまゝ放置はできませんので，現行予算の枠内で，次期の拡大期のシステム決定に影響を及ぼさない範囲で，システム更新を行うこととし，一番古いシステムであるモデル５００を新鋭のものに置換えることにしたのです。新しいシステムであるＡＣＯＳ７７／７００は既に紹介（センター・ニュースNo.21）したように，旧システムに比べて処理能力も格段に高い上に，ソフトウェアも近代的に整備されています。このシステムを主としてＴＳＳ用としたのは，一つには旧いモデル５００の代替ということもありますが，このシステムがオンライン系に注意が払われＴＳＳサービスに適しているということによります。また，センター利用の形態として，できるだけ利用者の研究場所に近いところで居ながらにして計算機を利用できることが望ましいわけですが，その点に関しても，いわゆる会話型の他に会話型リモート・バッチ処理もでき，音響カプラーを利用することで普通の電話ででも簡便に利用できるこのシステムを，まずオンライン用として使用することにしたものです。これによってオンラインでのセンター利用が増すことを期待しています。更に，ＡＣＯＳシステムはファイルの利用法も多彩である上に，データ・ベース言語も相当整備されています。これによりデータ・ベース的な利用も試みていただくことを期待しています。

このシステムでローカル・バッチ処理を行うこともちろん可能ですが，現在センターが抱えているバッチ処理に関する問題点はこれでは解決致しません。もちろん，予算増が実現すれば，それを機に全システムを新鋭機にかえることになりますが，予算増が遅れる場合でも，何等かの措置を取るよう現在検討と努力を続けていることを報告しておきます。

利用負担金の改訂について

このたび本センターでは，ＴＳＳ処理システムを，現在のＮＥＡＣ２２００シリーズモデル500システムから，ＡＣＯＳシリーズ７７ＮＥＡＣシステム７００に置き換えることになり，すでに１０月１３日からテストサービスを開始しております。これに伴って，負担金を改訂することになりました。

つきましては，これを機会にその他についても検討を加えたところ，長時間ジョブのターン・アラウンド・タイムが，他のＡ，Ｂジョブより比較的長いこと，あるいは，リモート・バッチの入出力についてはリモート・バッチ・ステーションでの負担がかかることなどを考慮して負担金面で優遇することになりました。

主な改訂部分の概要と負担金の一覧表は次のとおりです。

なお，この改訂は，昭和５１年１２月１日から実施します。

1）リモート・バッチ処理の基本負担額

ＮＥＡＣ２２００及びＡＣＯＳ７００の両システムにおいて，リモート・バッチ処理の基本負担額を計算依頼１件につき２０円に引き下げます。

2）長時間ジョブの演算負担額

ＮＥＡＣ２２００及びＡＣＯＳ７００の両システムにおいて，ＣＰＵタイムが９００秒までの部分は「ＣＰＵタイム１秒につき５円」と変わりませんが，９００秒を超える部分については，１秒につき３円に引き下げます。

3）ファイルの使用負担額

従来のファイル以外に，ＡＣＯＳ－ファイルの使用負担額を新たに規定します。これは，バッチ処理，ＴＳＳ処理の両方とも同じです。

使用月ごとに，申請に基づく割当量が１０リンク※までの部分については，１リンク当たり20円とし，10リンクを超える部分については，１リンク当たり４０円となります。

4）ＴＳＳ処理

従来のモデル５００システムの他にＡＣＯＳ７００の負担金を新たに規定します。

基本負担額	計算依頼	１件につき	２０円
演算負担額	ＣＰＵタイム	１秒につき	５円
センター出力負担額	ＬＰ用紙	１ページにつき	５円

ただし，① ＡＣＯＳ７００での１会話は，会話開始（ＬＯＧ－ＯＮ手順）から会話終了（ＬＯＧ－ＯＦＦ手順）又は，サービス中断の直前のコマンドまでとする。

② ＡＣＯＳ７００でのＴＳＳでは，会話型リモート・バッチ処理という新しい利用形態があります。これは，ＴＳＳ処理で会話中に，リモート・バッチ処理を実行することになりますので，この場合の基本負担額は、ＴＳＳ処理の基本負担額

とリモート・バッチ処理の基本負担額の両方を合計した金額となります。

※リンクについて

ＡＣＯＳ－ファイルの容量の基本単位は，リンク（ＬＩＮＫ）です。１リンクで，3,８４０語，文字数では，１５,３６０バイトを収容できます。

◎ 利 用 負 担 金 一 覧 表

区分			負担額
バッチ処理	2200シリーズ モデル700 システム	基本負担額	計算依頼1件につき80円とする。ただし，リモート・バッチ処理については，計算依頼1件につき20円とする
		演算負担額	CPUタイム1秒につき5円とする。ただし900秒を超える部分については，1秒につき3円とする。
		センタ-出力負担額	LP用紙1頁につき5円，カード1枚につき1円
		リモート出力負担額	LP用紙1頁につき2円，カード10枚までごとに1円
		ファイル使用負担額	使用月ごとに，申請に基づく割当量が15UODまでの部分については，1UOD当たり10円とし，15UODを超える部分については，1UOD当たり20円とする。
	ACOS 77 システム700	基本負担額	2200シリーズモデル700システムに同じ。
		演算負担額	
		センタ-出力負担額	
		リモート出力負担額	
		ファイル使用負担額	使用月ごとに，申請に基づく割当量が10リンクまでの部分については，1リンク当たり20円とし，10リンクを超える部分については1リンク当たり40円とする。
TSS処理	2200シリーズ モデル500 システム	基本負担額	計算依頼1件につき20円
		演算負担額	CPUタイム1秒につき1円
		センタ-出力負担額	LP用紙1頁につき5円
		ファイル使用負担額	一端末につき，使用月ごとに40UOAを超える部分についてUODに換算し，その換算数1UOD当たり20円とする。ただし，その換算数に1UOD未満の端数が生じたときは，これを1UODに切り上げるものとする。
	ACOS77 システム700	基本負担額	計算依頼1件につき20円
		演算負担額	CPUタイム1秒につき5円
		センタ-出力負担額	LP用紙1頁につき5円
		ファイル使用負担額	バッチ処理のACOS77システム700に同じ
ドラフター		使用負担額	ドラフター使用の計算依頼1件ごとに400円

備　考

1. 基本負担額，演算負担額，センター出力負担額及びリモート出力負担額については，計算依頼１件ごとに算出するものとする。
2. ＴＳＳ処理においては，会話開始（ＨＥＬＬＯコマンド又はＬＯＧ－ＯＮ手順）から会話 終了（ＢＹＥコマンド又はＬＯＧ－ＯＦＦ手順）又はサービス中断の直前のコマンドまでを計算依頼１件とする。
3. ＣＰＵタイムに１秒未満の端数が生じたときは，これを１秒に切り上げるものとする。
4. 会話型リモートバッチの場合の基本負担額はＴＳＳ処理ＡＣＯＳ７７システム７００の基本負担額２０円と，リモートバッチ処理の基本負担額２０円の両方を併せた額とする。

昭和51年度上半期のセンター状況報告

◎月別ジョブ処理状況

JOB区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
オープン	処理件数	3,611	5,209	6,629	6,075	5,816	6,635	33,975
	CPUT	44,433	65,735	86,660	77,194	83,221	89,141	446,384
A	処理件数	1,148	1,486	1,870	2,051	1,744	2,004	10,303
	CPUT	91,787	104,757	138,349	157,858	135,691	147,081	775,523
B	処理件数	1,374	1,666	2,174	2,036	1,757	2,115	11,122
	CPUT	331,583	376,868	468,612	497,342	394,677	441,103	2,410,185
C	処理件数	52	60	120	142	95	185	654
	CPUT	61,195	48,348	128,047	121,369	72,926	149,769	581,654
リモートバッチ	処理件数	170	274	311	312	167	345	1,579
	CPUT	7,888	31,493	17,003	12,413	11,221	7,550	87,568
その他	処理件数	916	828	1,220	1,907	1,108	1,592	7,571
	CPUT	24,158	18,486	19,865	27,933	17,613	14,485	122,540
計	処理件数	7,271	9,523	12,324	12,523	10,687	12,876	65,204
	CPUT	461,044	645,687	858,536	894,109	715,349	849,129	4,423,854
TSS	会話数	551	768	810	716	382	571	3,798
	CPUT	50,064	118,698	144,789	88,954	99,878	112,300	614,683

◎ジョブ区分別平均待ち日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
オープン	0	0	0	0	0	0	0
A	0.174	0.038	0.043	0.099	0.047	0.080	0.076
B	0.279	0.118	0.081	0.219	0.055	0.183	0.152
C	0.392	0.475	0.508	0.860	0.273	0.801	0.621
全ジョブ	0.098	0.034	0.030	0.075	0.022	0.078	0.060

昭和５１年度計算機稼動状況

システム　NEAC　2200　モデル 700　（システム１）　記憶容量　1024　KCH　（単位，時間）

月	4	5	6	7	8	9	合　計	平　均
サービス	178：32	193：20	231：25	237：54	206：44	226：42	1274：37	212：26
開　発	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00
講　習	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00
準　備	1：40	4：12	1：53	3：20	2：07	2：10	15：22	2：33
ア　キ	10：49	7：46	9：09	8：24	10：33	7：44	54：25	9：04
業　務	20：13	16：23	17：16	10：52	25：41	15：19	105：44	17：37
小　計 (A)	211：14	221：41	259：43	260：30	245：05	251：55	1450：08	241：41
保　守 (B)	25：55	19：30	26：25	26：00	23：30	23：55	145：15	24：12
故　障 (C)	2：05	0：25	0：00	0：00	0：48	0：00	3：18	0：33
運転時間 (A+B+C)	239：14	241：36	286：08	286：30	269：23	275：50	1598：41	266：26
稼動率 (A/A+B+C)%	88.2	91.7	90.7	90.9	90.9	91.3	90.7	90.7
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	153	25
一日平均 (A/D)	8：07	9：14	9：59	9：38	9：25	10：29	9：28	9：40

システム NEAC 2200 モデル 500 (システム2) 記憶容量 512 KCH (単位, 時間)

月	4	5	6	7	8	9	合計	平均
サービス	136:34	125:01	141:59	140:25	133:00	127:08	804:07	134:01
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備	2:10	2:04	2:12	2:29	2:32	1:49	13:16	2:12
アキ	11:00	13:03	15:19	14:05	15:06	11:19	79:52	13:18
業務	23:08	21:44	12:48	14:38	24:39	16:02	112:59	18:49
小計 (A)	172:52	161:52	172:18	171:37	175:17	156:18	1010:14	168:22
保守 (B)	19:25	17:30	15:45	21:00	17:20	19:55	110:55	18:29
故障 (C)	0:00	1:00	0:00	0:00	0:00	0:50	1:50	0:18
運転時間 (A+B+C)	192:17	180:22	188:03	192:37	192:37	177:03	1122:59	187:09
稼動率 (A/A+B+C)%	89.9	89.7	91.6	89.0	91.0	88.2	89.9	89.9
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	153	25
一日平均 (A/D)	6:38	6:44	6:37	6:21	6:44	6:30	6:36	6:44

システム NEAC 2200 モデル 700 (システム3) 記憶容量 1024 KCH (単位, 時間)

月	4	5	6	7	8	9	合計	平均
サービス	195:21	198:20	247:59	244:43	229:29	241:12	1357:04	226:10
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備	1:43	3:19	1:57	2:41	2:06	2:24	14:10	2:21
アキ	5:27	6:55	9:01	9:45	9:04	8:56	49:08	8:11
業務	16:48	5:28	5:15	10:05	7:26	8:52	53:54	8:59
小計 (A)	219:19	214:02	264:12	267:14	248:05	261:24	1474:16	245:42
講習 (B)	30:25	24:25	24:35	28:48	29:30	19:15	156:58	26:09
故障 (C)	0:00	7:23	0:25	3:42	0:00	4:55	16:25	2:44
運転時間 (A+B+C)	249:44	245:50	289:12	299:44	277:35	285:34	1647:39	274:36
稼動率 (A/A+B+C)%	87.8	87.0	91.3	89.1	89.3	91.5	89.4	89.4
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	153	25
一日平均 (A/D)	8:26	8:55	10:09	9:53	9:32	10:53	9:38	9:49

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　バッチ利用状況（システム１）　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（51年７月）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	723 (92.81)	0 (0.00)	0	0	0	0
（Ａジョブ）		204 (8.20)	18,078	5,236	0	109,238
（Ｂジョブ）		1,897 (76.27)	462,530	79,260	49,347	1,676,734
（Ｃジョブ）		20 (0.80)	14,816	1,442	108	17,146
指導員	12 (154)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.38)	37 (1.48)	5,826	1,385	0	43,893
講習会	14 (1.79)	31 (1.24)	155	306	0	2,508
研究開発	5 (0.64)	7 (0.28)	214	178	192	14,462
業務	22 (2.82)	291 (11.70)	3,451	4,812	0	26,377
合　　計	779	2,487	505,070	92,619	49,647	1,890,358

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　バッチ利用状況（システム１）　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（51年８月）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	746 (93.01)	0 (0.00)	0	0	0	0
（Ａジョブ）		171 (8.34)	12,456	4,873	0	86, 057
（Ｂジョブ）		1,585 (77.35)	351,764	93,969	50,458	1,470, 815
（Ｃジョブ）		1 (0.04)	24	7	0	1, 155
指導員	12 (1.49)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.37)	19 (0.92)	2,041	860	0	32, 006
講習会	14 (1.74)	12 (0.58)	105	197	0	2, 488
研究開発	5 (0.62)	0 (0.00)	0	0	0	0
業務	22 (2.74)	261 (12.73)	4,959	5,493	0	25, 179
合　　計	802	2,049	371,349	105,399	50,458	1,617, 700

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　バッチ利用状況（システム1）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（51年９月）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者(オープンジョブ)	764 (92.60)	0 (0.00)	0	0	0	0
（Ａジョブ）		154 (6.21)	11,940	4,757	0	80,575
（Ｂジョブ）		2,023 (81.67)	418,597	98,298	63,441	2,041,854
（Ｃジョブ）		1 (0.04)	1	6	0	4
指導員	12 (1.45)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.36)	10 (0.40)	492	177	0	19,370
講習会	14 (1.69)	87 (3.51)	645	871	0	6,585
研究開発	5 (0.60)	0 (0.00)	0	0	0	0
業務	27 (3.27)	202 (8.15)	1,701	3,553	0	18,226
合　　計	825	2,477	433,376	107,662	63,441	2,166,614

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　バッチ利用状況（システム３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（51年７月）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	723 (92.81)	6,075 (62.47)	77,194	94,830	0	1,705,952
（Ａジョブ）		1,847 (18.99)	139,780	51,231	0	1,018,801
（Ｂジョブ）		139 (1.42)	34,812	4,562	4,091	109,468
（Ｃジョブ）		122 (1.25)	106,553	11,359	4,085	125,263
指導員	12 (1.54)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.38)	242 (2.48)	6,274	4,602	0	189,185
講習会	14 (1.79)	577 (5.93)	3,289	6,656	0	68,163
研究開発	5 (0.64)	62 (0.63)	246	737	0	14,085
業務	22 (2.82)	660 (6.78)	8,478	4,169	0	52,420
合　　計	779	9,724	376,626	178,146	8,176	3,283,337

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　バッチ利用状況（システム３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（51年８月）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者(オープンジョブ)	746 (93.01)	5,816 (68.65)	83,221	89,332	0	1,808,558
（Ａジョブ）		1,573 (18.56)	123,235	44,254	0	871,286
（Ｂジョブ）		172 (2.03)	42,913	9,076	2,657	159,788
（Ｃジョブ）		94 (1.10)	72,902	8,804	2,992	108,283
指導員	12 (1.49)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.37)	169 (1.99)	4,202	3,272	0	131,708
講習会	14 (1.74)	189 (2.23)	1,170	2,128	0	28,542
研究開発	5 (0.62)	1 (0.01)	6	14	0	290
業務	22 (2.74)	457 (5.39)	5,130	3,130	0	30,787
合　　計	802	8,471	332,779	160,010	5,649	3,139,242

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　バッチ利用状況（システム３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（51年９月）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者(オープンジョブ)	764 (92.60)	6,635 (65.99)	89,141	105,747	0	1,957,620
（Ａジョブ）		1,850 (18.40)	135,141	50,478	0	921,253
（Ｂジョブ）		92 (0.91)	22,506	4,294	1,666	77,880
（Ｃジョブ）		184 (1.83)	149,768	16,181	14,412	261,359
指導員	12 (1.45)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.36)	95 (0.94)	1,096	1,847	0	72,478
講習会	14 (1.69)	750 (7.45)	4,640	8,753	0	89,389
研究開発	5 (0.60)	17 (0.16)	50	172	0	357
業務	27 (3.27)	431 (4.28)	5,861	2,662	0	38,622
合　　計	825	10,054	408,203	190,134	16,078	3,418,958

「速 報」及び「お知らせ」の集録

速報No.３６（１９７６.１０.６），速報No.３７（１９７６.１０.２５），おしらせ（1976.10.6）を掲載します。

〈速報 No.３６〉

ＡＣＯＳシリーズ７７ＮＥＡＣシステム７００（Ｓ７００）によるＴＳＳ処理等の運用開始について

先にお知らせしました新システムについて予定通り９月中旬に導入，現調等も順調に終り，現在センター内において運用開始の準備作業を行っております。

運用方法等についても一応の検討を終えましたので下記の通り決定した事項についてお知らせします。

なお，新システムでの運用でもありセンターとしてサービス開始後の明確な予測を立てにくい面も多々あり，結果次第によって運用を変更することを考えておりますので，とりあえずは今年度中の暫定運用として取り扱いますので，この点お含み置き下さるとともに利用者の方々の積極的な御意見をお寄せ下さるようお願いします。

記

1. Ｓ７００の利用

当面はＴＳＳと会話型リモートバッチ処理（ＣＲＪＥ）のサービスのみとします。

たゞしリモートバッチ処理は今後の端局側の動向により検討することとなります。

また，ローカルバッチ処理については今回のシステム構成のもとでは原則的には行わないものとしますが，当初接続端末数が少ないこと等もあり今年度限りの処置として11月中旬以降サービス開始の方向で検討しておりますので運用方法等決定次第お知らせします。

なお，ＡＣＯＳ－６ ＴＳＳ等の詳細はマニュアルの外10月初旬開催のACOS TSS 講習会資料を参照して下さい。

(1) 使用できるプログラミング言語

- ＴＳＳ処理の時

  FORTRAN, BASIC, ALGOL, JOVIAL, ABACUS

- ＣＲＪＥ等その他の処理の時

  FORTRAN, ALGOL, JOVIAL, PL/1, GMAP, COBOL

たゞし，ＪＯＶＩＡＬ言語を使用中障害が発見されても修正は行えませんのでこの点御了承のうえ御使用下さい。

なお，FORTRANについてはセンターニュースNo.２２（ACOS－6 FORTRAN について）に掲載しておりますので参照して下さい。

(2) 利用可能なアプリケーションシステム

別表1のとおりです。

(3) ＴＳＳユーザー使用最大メモリー　　２４０ＫＢ（６０ＫＷ）

なお，ＣＲＪＥの場合４２０ＫＢ（１０５ＫＷ）まで可能ですが２４０ＫＢ以上になりますとＴＳＳ使用状況により計算処理が遅れることがあります。

(4) ＡＣＯＳシステム用ファイル

ＡＣＯＳ－６ファイルシステムは現在モデル５００システムのＴＳＳファイルのようにグループ単位で使用されるものではなく現モデル７００の利用者ファイル（ＵＦ）に近いもので利用者個人に割り当てられるものと従来のようにジョブの実行時に一時的に使用するワークファイル的なものがあり，それぞれパーマネントファイルとテンポラリファイルに分類されています。個人専用のパーマネントファイルを使用するときは必ず現利用者ファイル開設承認申請と同じように別紙様式「ＡＣＯＳ－ファイル利用登録申請書」（以下「登録申請書」という。）を前もって提出承認を受ける必要があります。

このファイルの有効期間をどの程度にするかは今後検討することとなりますが今回はとりあえず暫定期間の５１年度中とします。

(5) ＡＣＯＳシステム用ユーザパスワード（ログオンパスワード）

このパスワードは従来のモデル７００のパスワードとは別で，ACOS システムで必要なものであり登録申請書によって承認された利用者はそのパスワードを，その他の利用者(テンポラリファイルのみ利用する者で登録申請を必要としない場合)は「HANDAI」で統一します。

(6) サービス時間

従来通りとしますが，10月中における木曜日の午後はセンター内での端末移行作業の準備等のためサービスは行いませんので御注意願います。

月　火　水　金	９：３０　～　１６：００
木	１３：３０　～　１６：００
土	９：３０　～　１２：００

(7) サービス開始時期

センター内設置のミニプリンタＮＭ３０００（３台）を含め昭和51年10月13日（水）から開始します。

ミニプリンタの使用申し込み方法等利用については従来のＮＥＡＣ－ＴＹＰＥＲと同様としますので所定の申し込みをして利用して下さい。

なお，新システムで開始する公衆網サービスについても同13日からとしますので，設置される端局は所定の端局設置申請書（端局設置・使用細則を改正センター・ニュースNo.２２に掲載）を提出承認を受けて下さい。

たゞし，電々公社の承認が遅れておりますので吹田キャンパス内のみとします。

内線番号は２８６１，２８６２の２回線です。

(注) 外線電話については公社の承認がおり（２回線の代表番号）が判明次第お知らせします。

(8) 利用者用マニュアル

当面必要なマニュアルは別表２のとおりです。入手を希望される方は，次の所へお申し込み下さい。

〒５４１　大阪市東区北浜５丁目１５番地

日本電気株式会社情報処理

大阪システム事業部第一営業部

TEL （０６）２２０−４７９３

2. Ｓ７００利用のための手続き

計算課題の申請と承認について課題番号は全システム共通であり申請手続きは従来通り変更ありませんので既に課題番号が付与されている利用者はその課題で新システムも利用できますので，あらためて利用申請書を提出していたゞく必要はありません。

新たな申請手続きとしては１−(4)の登録申請のみです。

3. ＴＳＳ端末等の移行

電々公社との詰めが終わっていないため詳細については決定しておりませんが，おおよその計画は次のとおりです。

いずれにしろ移行スケジュールはファイルの移行と合せて端局個々と連絡をとって行います。

５０BPS端局（６０２０端末）　51年11月10日から吹田キャンパス内のものから開始する

１２００BPS端局（６０４０端末）　52年４月から

現モデル５００システムでのＴＳＳ処理は52年６月末までを予定しております。

なお，センター内設置のＮＥＡＣ−ＴＹＰＥＲ３台のうち２台は11月初旬にＡＣＯＳシステムに接続移行し，１台は現状のまゝモデル５００システムの端末機として残す予定です。

4. Ｓ７００のプログラム相談等について

今年度中は次のとおり行います。

○ 研究開発部担当

言語等

まず，プログラム相談室で受け，解決しない場合は相談員の指示によって次の担当者まで申し出て下さい。

FORTRAN　磯本，後藤（内線 ２８３３，２８３６）

コマンド等　多喜　（内線 ２８３７）

○ 業務掛担当（内線２８２３）

運用，端末操作等　佐々木，中島，西

ジョブコントロールカード　青井，北本

昭和　　年　　月　　日

ACOS－ファイル利用登録申請書

大阪大学大型計算機センター長 殿

下記のとおり新規登録を申請します。

職名又は身分		氏　名	㊞
連絡先	所在地	〒 □□□-□□	
	大学　　学部　　学科		研究室又は講座名
	TEL　市外局番（　　）局番（　　）番号（　　）内線（　　）		
課題番号			注1
ACOSシステム用ユーザパスワード			注2
ファイル使用量		リンク　最大30リンクまで	注3
利用予定端末番号			注4
備考			

注1）計算機利用申請書記載の課題番号を記入のこと。

注2）任意の12桁以内の英数字で途中に空白を入れずに左づめに記入のこと。

注3）1リンクが3840Wに相当します。

注4）利用予定端末がない場合は空白でけっこうです。

- この申請書を提出されない方はパーマネントファイルを使用できません。

（別表１）

ＡＣＯＳアプリケーション一覧表

アプリケーション システム名	略　　称	処理形態	
		ＴＳＳ	その他
1. 数値計算ライブラリ	ＭＡＴＨＬＩＢ－６	○	○
2. タイムシェアリング ライブラリ	ＴＳＳ／ＬＩＢ－６	○	
3. システムダイナミックス言語	ＤＹＮＡＭＯ／Ｆ－６		○
4. 離散型シミュレーション	ＧＰＳＳ／Ｖ－６		○
5. 統計解析システム	ＳＴＡＴＰＡＣ－６		○
6. 数理計画システム	ＭＰＳ－６		○
7. 連続型シミュレーション	ＣＳＰＬ－６		○

㊟ 1. 51. 10. 13現在のものです。
2. 使用法についてはマニュアルを参照して下さい。ただし，オブジェクト・プログラムファイルはディスク化してありますので，実行はすべてディスクベースとなります。利用方法等詳細は後日お知らせします。

（別表２）

マ　ニ　ュ　ア　ル　一　覧　表

資　　料　　名	コ　ー　ド	備　考
システム概説書	ＦＡＺ０１	
システム説明書	ＦＣＺ０１	
ジョブ制御言語説明書	ＦＤＡ０２	○
タイムシェアリングシステム説明書	ＦＥＦ０２	○
タイムシェアリング会話型リモートバッチ説明書	ＦＥＦ０６	○
タイムシェアリングテキストエディタ／ランオフ説明書	ＦＥＦ０７	○
ＣＯＢＯＬ－Ｂ－ 文法説明書	ＦＧＡ０１	
ＣＯＢＯＬ 文法説明書	ＦＧＡ０２	
ＣＯＢＯＬ－Ｂ－ プログラミング説明書	ＦＧＡ０３	
ＣＯＢＯＬ プログラミング説明書	ＦＧＡ０４	
ＦＯＲＴＲＡＮ文法説明書	ＦＧＢ０２	○
ＦＯＲＴＲＡＮプログラミング説明書	ＦＧＢ０３	○
ＦＯＲＴＲＡＮサブルーチンライブラリ説明書	ＦＧＢ０４	○
ＡＬＧＯＬ 概説書	ＦＧＣ０１	
ＡＬＧＯＬ 文法説明書	ＦＧＣ０２	
ＡＬＧＯＬ プログラミング説明書	ＦＧＣ０３	
ＰＬ／１ 概説書	ＦＧＤ０１	
ＰＬ／１ 文法説明書	ＦＧＤ０２	○
ＰＬ／１ プログラミング説明書	ＦＧＤ０３	○
ＧＭＡＰ 説明書	ＦＧＥ０１	
ＢＡＳＩＣ 説明書	ＦＧＨ０１	○
デバッグ／トレース説明書	ＦＧＪ０５	○

資　　料　　名	コ　ー　ド	備　考
アプリケーション概説書	ＦＸＺ０１	
数値計算ライブラリ（ＭＡＴＨＬＩＢ－６）説明書（概念／機能編）	ＦＸＦ０１	○
数値計算ライブラリ（ＭＡＴＨＬＩＢ－６）説明書（別冊）	ＦＸＦ０２	○
数値計算ライブラリ（ＭＡＴＨＬＩＢ－６）説明書（例題編）	ＦＸＦ０３	○
タイムシェアリングライブラリ（ＴＳＳ／ＬＩＢ－６）説明書（数値計算編）	ＦＸＱ０２	
タイムシェアリングライブラリ（ＴＳＳ／ＬＩＢ－６）説明書（統計計算編）…12月発行予定	ＦＸＱ０３	
システムダイナミックス言語（ＤＹＮＡＭＯ／Ｆ－６）説明書	ＦＸＥ１２	
離散型シミュレーション言語（ＧＰＳＳ／Ｖ－６）説明書	ＦＸＥ０２	
統計解析システム（ＳＴＡＴＰＡＣ－６）説明書（概念／機能編）	ＦＸＢ０２	
統計解析システム（ＳＴＡＴＰＡＣ－６）説明書（操作編）	ＦＸＢ０３	
統計解析システム（ＳＴＡＴＰＡＣ－６）説明書（操作編，別冊）	ＦＸＢ９９	
数理計画システム（ＭＰＳ－６）説明書	ＦＸＡ０２	
数理計画システム（ＭＰＳ－６）アジエンダ制御言語説明書	ＦＸＡ０３	
数理計画システム（ＭＰＳ－６）マトリックスゼネレータ言語説明書	ＦＸＡ０４	
数理計画システム（ＭＰＳ－６）フォーマットゼネレータ言語語説明書	ＦＸＡ０５	
数理計画システム（ＭＰＳ－６）説明書（例題編）	ＦＸＡ０６	
連続型シミュレーション言語（ＣＳＰＬ－６）説明書	ＦＸＥ２２	

(注) ○印のマニュアルは本センター及び豊中，中之島地区データ・ステーションに備え付けています。

＜速報 №37＞

Ⅰ ACOSシステム700における暫定バッチ処理について

速報№36でお知らせしましたバッチ処理（今年度中の暫定運用）について、次のとおりサービスを行いますのでお知らせします。

1　サービス開始時期

11月16日からとします。

なお、ジョブの受け付けについても同日からとします。

2　システムの利用範囲

使用できるプログラミング言語は、速報㐧３６を参照してください。

処理対象ジョブは表１の制限内のジョブで、ワークファイルはディスクのみとします。

なお、カード出力はできません。

表１　バッチジョブの制限値

ＣＰＵ時間	６０分
メモリ容量	１０５ＫＷ
ＬＰ出力枚数	１００頁
カード入力枚数	４７００枚
カード出力枚数	不　可
入出力時間	６０分
ワークデイスク[1)]	１０リンク
ワークテープ	不　可

1)　１リンク≒３８４０ワード

3　受付方法

利用者が作成したソースプログラムおよびデータを１つのジョブとして処理させるためには次のいずれかの方法でジョブ処理を依頼します。

なお、従来の$㐧カード、＄ＪＯＢカードにかわり、＄ＳＮＵＭＢカード、＄ＩＤＥＮＴカードとなります。（センター及び豊中データ・ステーションに用意してあります。）

(1)　センター受付

計算依頼はカードデックをジョブ受付窓口へ提出してください。

＄　ＩＤＥＮＴカードには

カラム 1	8	16	
＄	ＩＤＥＮＴ	課題番号	をパンチしてください。

(2)　豊中及び学外からの受付

＄　ＩＤＥＮＴカードには

カラム 1	8	16	26
＄	ＩＤＥＮＴ	課題番号	，ＭＡＩＬ

とＭＡＩＬのオペランドを必ず指定してください。

センター留め置きの場合は（，ＭＡＩＬ）の指定はいりません。

注）　従来の＄ＭＡＩＬとパンチしてある計算依頼カードは使用できません。連絡所送りの場合はセンター留め置きの計算依頼カードに連絡所送りと明記してお使いください。

4　返却方法

＄ＩＤＥＮＴカードのＭＡＩＬの有無によりセンター返却棚又は連絡所へ返却されます。

(1) ＭＡＩＬのない場合

計算結果は、受付番号（＄ＳＮＵＭＢカード）の下２桁の返却棚に返却します。

(2) ＭＡＩＬのある場合

計算結果は、学内コンテナ便、学外コンテナ便又は郵送によって連絡所に返却します。

5 使用説明書

「ＡＣＯＳ用暫定ＢＡＴＣＨジョブ使用説明書」が本センター及び豊中・中之島地区データ－・ステーションに用意してあります。

その他の希望者は共同利用掛（内線２８１７）までお申し出ください。

Ⅱ ACOSシステム700によるTSSの利用について(その1)

ＴＳＳ利用について、今後具体化したものから順次お知らせすることとします。

なお、今回の利用については１１月１日（月）から開始します。

1 ＣＥＮＴＥＲ ＯＵＴＰＵＴ の方法

ＢＰＲＩＮＴとＪＯＵＴの２つの方法があります。

1） ＢＰＲＩＮＴの使用法

○ ＢＰＲＩＮＴ Ｆ１；＊；Ｆ２；Ｆ３；……（カレントファイル……＊）

指定されたパーマネントファイル及びカレントファイルの内容がＢＣＤコードに変換され、センターのライン・プリンターに出力されます。

（＊） 端末からのタイプ入力例

```
ＳＹＳＴＥＭ？ ＢＰＲＩＮＴ……ビルドモードでも使用可
ＩＮＰＵＴ ＦＩＬＥＳ ＦＯＲＴ……ファイル名
＄ ＩＤＥＮＴ 課題番号 , 識別名
ＬＡＢＥＬＳ？ Ｎ
ＳＮＵＭＢ ＃ ３４５６Ｔ
ＳＹＳＴＥＭ？
```

```
××××××××××
  ３ ４ ５ ６ Ｔ
××××××××××
××××××××××
   ＢＯＸ－ｘｘ
××××××××××
```

（プリント出力表紙）

o　プリント出力はＳＮＵＭＢ文の〝Ｔ〟を除いた下２桁の番号が返却棚番号となります。
連絡所送りの場合は識別名に〝ＭＡＩＬ〟と指定すれば〝ＭＡＩＬ－課題番号上４桁〟と花文字で表示されます。
〝ＭＡＩＬ〟以外を指定すると〝ＢＯＸ－課題番号下２桁〟が花文字で表示されます。

LABELS? に対する応答			
ASIS (A)	フアイル上の形式のまま編集しない	abcde1 (i,J)$_1$;	ライン番号を73－80桁に移し、ライン番号 (i,J)k をもつカードに対して73－80に左詰めで abcdek というプレフイクスをつける
STRIP(S)	ライン番号除去	abcde2 (i,J)$_2$;	
MOVE (M)	ライン番号を73－80に移す	⋮	
NORM (N)	MOVE及び標準タブセット (:,8,16,32,73)	abcden (i,J)n	

２）　ＪＯＵＴの使用法

ＣＡＲＤ　ＩＮサブシステムを用いてのＣＥＮＴＥＲ　ＯＵＴ　ＰＵＴ方法。

```
SYSTEM? CARD
    ⌒
    ⌒
*RUN
  SNUMB  #5678T
    ⌒
    ⌒
SYSTEM? JOUT 5678T
```

または

```
*JOUT 5678T
FUNCTION? DIRECT ONL
```

```
********
 5678T (××) ----------→ 端末番号２桁
********
********
  BOX－××
********        (プリント出力表紙)
```

o　出力結果はＳＮＵＭＢ文の〝Ｔ〟を除いた下２桁の番号が返却棚番号となります。
また、連絡所送りの場合は＄ＩＤＥＮＴ文の識別名に〝ＭＡＩＬ〟と指定して下さい。その

場合、プリント出力表紙上に〝ＭＡＩＬ－課題番号上４桁〟と花文字で表示されます。
また、〝ＭＡＩＬ〟以外を指定すると、〝ＢＯＸ－課題番号下２桁〟と花文字で表示されます。

２　ＣＥＮＴＥＲ　ＩＮＰＵＴ　（ＣＩＮＰＵＴ）の方法

(1)　ＣＩＮＰＵＴ　受付返却方法

＊　受付　ＪＯＢ受付でＣＩＮＰＵＴ依頼カードと、＄ＳＮＵＭＢカードを受け取り、必要事項を記入の上窓口へ提出して下さい。

＊　返却　返却方法は、課題番号の下２桁を持って返却棚にリスト及びカードを返却します。
（詳細はＩＤＥＮＴカードの説明で）

(2)　ＣＩＮＰＵＴ　に対する注意事項

ＣＩＮＰＵＴに際し必ず先にＵＳＥＲのパーマネントファイルにＡＣＣＥＳＳサブシステムを用いてカタログ及びファイルの作成を行っていなければなりません。
ＧＥＮＥＲＡＬ　ＰＥＲＭＩＳＳＩＯＮはＷＲＩＴＥと指定します。

(3) 構成　カード説明

ＡＣＯＳ－６システムにおけるＣＩＮＰＵＴはＢＡＴＣＨＪＯＢとして処理されますので、それに伴いＪＣＬ構成カードを説明します。

ア。　ＳＮＵＭＢ　カード

①カラム	⑧カラム	⑯カラム
＄	ＳＮＵＭＢ	××××××

イ。　ＩＤＥＮＴ　カード

①	⑧	⑯
＄	ＩＤＥＮＴ	課題番号，識別名

- 連絡所送りを希望する時には識別名の欄に〝ＭＡＩＬ〟と指定して下さい。
- 識別名の欄にＭＡＩＬ以外を指定すると〝ＢＯＸ－課題番号下２桁〟が花文字で表示されます。

ウ。　ＵＳＥＲＩＤ　カード

①	⑧	⑯
＄	ＵＳＥＲＩＤ	課題番号＄パスワード

パーマネントファイルをアクセスする為に用いる。

エ。 ＰＲＯＧＲＡＭ カード

```
①          ⑧          ⑯
$          PROGRAM    TSCONV
```

オ。 ＰＲＭＦＬ カード

```
①          ⑧          ⑯
$          PRMFL      FT,R/W,L,課題番号/ファイル名
```

ＦＴ：
R／W：} パーミッションの指定
Ｌ：　必ずこの様に指定する。

ファイル名：ＡＣＣＥＳＳサブシステムで指定したファイル名
もしカタログ構造を持っていれば
（カタログ名／ファイル名と指定）

カ。 ＩＮＰＵＴ カード

ＩＮＰＵＴカードの指定には、登録するソースカード及びデータカードにラインナンバーを付加する指定と付加しない指定があります。

（ラインナンバー付加しない）

```
①
INPUT,ASIS,i,J
```

ＡＳＩＳ：　入力されるカードにラインナンバーを付加しないで登録を行う。

ｉ；Ｊ：　入力されるカードのｉカラムからＪカラムまでの間の内容を登録する。
省略の場合は１カラムから８０カラム

（ラインナンバー付加）

```
①
INPUT,INSERT,i,J,m,n
```

ＩＮＳＥＲＴ：　入力されるカードにラインナンバーを付加して、登録を行う。

ｉ，Ｊ：　入力されるカードのｉカラムからＪカラムまでの間の内容を登録する。
省略の場合１カラムから７２カラム

ｍ，ｎ；　ラインナンバーがｍから始まりｎづつ増加する。

省略の場合１０から始まり１０づつ増加

キ．　ＩＮＣＯＤＥ　カード

①（Ｈコードの時）　⑧　　⑯

①　＄　　ＩＮＣＯＤＥ　　ＩＢＭＦ

①（ＥＬコードの時）⑧　　⑯

②　＄　　ＩＮＣＯＤＥ　　ＢＣＤ

- 登録を行うカードデックがＨコードの時は①のカードを登録カードデックの前に挿入する。
- 登録するカードデックがＥＬコードの場合は②のカードを答録カードデックの前に挿入するかもしくは省略。
- もしＨコードとＥＬコードが混合の場合はその都度①と②のカードを挿入する。

ク．　登録カードデック

パーマネントファイルへ答録するカードデック

ケ。　ＥＮＤＪＯＢ　カード

①　⑧

＄　　ＥＮＤＪＯＢ

ＪＯＢの終りを示す

Ⅲ 公衆網サービスについて

速報№３６でお知らせしました吹田キャンパス外からの利用について、電々公社の承認が遅れておりましたが、１１月１日（月）から使用可能となります。

なお、外線電話番号は次の通りです。

０６－８７６－３２４１（２回線の代表番号）

Ⅳ デマンドプリンティング方式の採用について

デマンドプリンテイングとは、ファイルに保存されているバッチ・ジョブの計算結果を、利用者がセンターにきて随時計算結果を取り出す方式で既存のラインプリンター2台と新たに入出力タイプライター2台を導入して一部採用することになりました。

これらのサービスエリア（返却棚付近）に当てるための改造工事も終わり、来年早々からの運用開始を目ざし、準備作業を行っております。

運用方法等詳細については決定次第お知らせします。

〈速報No.３８〉

2. ＡＣＯＳシステム７００におけるアプリケーションシステムについて速報No.３６でお知らせしましたアプリケーションシステムについて，次のとおりサービスを行いますのでお知らせします。

1) サービス開始時期

１２月１日からとします。

2) 「ＡＣＯＳ用アプリケーション利用説明書」をセンター及び，豊中データ・ステーションに用意してあります。

※時系列計量経済分析システムについては，大容量のワーク・ディスクを使用しますが，現在ディスク１台テスト中のため使用できません。

3) 各アプリケーションの詳細な機能については，センター・ニュースに掲載する予定です。

3. 年末年始の業務について

年末年始の業務を下記のとおり実施しますのでご留意願います。

記

項　　目	年　末（終了）	年　始（開始）
(1) 計算依頼の受付・処理等	５１年１２月	５２年１月
受付窓口及び時間外キャビネット	２７日（月）まで	
オープン入出力装置室		
利用者入力の利用	２４日（金）まで	
オープン・バッチの利用		
(2) ＴＳＳ（Ｎ５００．ＡＣＯＳ）端末の利用	２５日（土）まで	５日（水）
(3) ドラフターの利用		１時から
(4) ＰＣＳ（媒体変換）の利用		
(5) オープンパンチ室，デバック室及び	２７日（月）	
カード保管室の利用	１２時まで	
(6) プログラム相談	２４日（金）まで	１０日（月）から
(7) １階返却だな	２８日(火)１２時まで	５日(水) １時から

注）1. 受付等の開始及び終了時刻は，それぞれきめられた時刻で行います。

ただし，１２月２３日(木)，１月６日(木)のオープン入出力装置室及びＴＳＳ端末の利用については当日定期保守日となっていますが，これを中止し，午前中からサービスを行います。

2. 年内に処理できないジョブは明年１月５日以降の処理となります。

3. 学外利用者の計算依頼については郵便事情等の問題もありますので，できるだけ早く行って下さい。

〈おしらせ（１９７６.１０.２５）〉

受付事務の窓口移転について

本センターでは、１０月から『共同利用掛』が新設されたことに伴って事務機構の改革を行うことになりました。

これを機会に、計算機利用に係る諸手続の窓口を一本化して利用者の便を計るべく下記のとおり窓口事務を移転しましたので、利用者の皆さんの御協力をお願い致します。

記

１．ジョブ受付（１階正面）

- 計算機利用申請書の提出
- 端局設置申請書等の提出
- ファイル関係の申請書の提出
- 計算依頼・穿孔依頼の受付
- 特殊ジョブの計算依頼の受付
- 磁気テープ持ち込みジョブの受付
- 端末利用の申込み
- カードロッカーの使用申込み
- 媒体変換用FACOM－Ｕ２００の使用申込み
- 希望・質問票の受付
- プログラム・ライブラリーの閲覧
- ドラフターの使用申込み

２．一般受付（１階玄関右側）

- 利用者旅費の手続及びジョブ優先カードの発行
- センター見学・案内の申込み
- センター・ニュース等の定期刊行物の配布

（速報等についてはジョブ受付に備えてあります。）

３．共同利用掛（１階事務室内）

上記書類等の提出は、ジョブ受付ですが、記入要領等内容に関すること（利用申請及び端局設置申請等）については、共同利用掛で受け付けます。

内線電話番号

共同利用掛（長）	2816
〃	2817